

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 15 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H15	浜川 広域基幹河川改 修事業 事業主体：県 事業地：鹿島市	流路是正、狭窄部解消を行 い、治水安全度を向上し、 流域の浸水被害の軽減を 図る。 計画流量 280m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=75億円 工期：S56～H25 改修延長：L=3,330m 計画流量：280m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、橋梁7基、堰9基	国道207号バイパス下 流の住家密集地域の用 地補償の促進ととも に、下流の国道207号の 橋梁をH14年度に完成 させ、上流の工事進捗 を図っている。 参楽橋他3橋完成 堰1基完成 (H14末進捗率 49%) (事業費ベース) (年平均進捗率 2.2%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 285戸 農地浸水面積 110ha (地域の状況) H15年度から肥前浜町において は「町並み環境整備事業」に採 択されるなど、まちづくりと一 体となった河川整備への期待 が高まっている。	事業採択時と比 較し、費用対効果 の要因の大きな 変化はない。 現在(B/C) 1.3	(コスト縮減策) ラバー堰の積極 的採用を行う等によ りコスト縮減を図 る。	再評価実施後 5 年が経過	継続
	現時点 H20	総合流域防災事 業		全体事業費：C=76億円 工期：S56～H34 改修延長：L=3,330m 計画流量：280m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、橋梁7基、堰9基	国道207号バイパスよ り下流について、左岸 側の一部区間の工事を H20で実施することに より完成する。今後、 これより上流の用地買 収の促進や工事進捗を 図っていく。 参楽橋他4橋完成 堰1基完成 (H19末進捗率 57%) (事業費ベース) (年平均進捗率 2.1%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) この地区は、H18年7月に重要伝 統的建造物群保存地区として 国選定を受けている。また、H15 年度から肥前浜町においては 「町並み環境整備事業」に採 択されている。これらのことか ら、周辺町並みの景観に配慮 し、また、まちづくりと一体と なった河川整備を実施してき た。	最新のマニユ アルに基づき、費用 対効果(B/C)を 算出した。 一般資産被害額 農作物被害額 公共土木施設等 被害額等 B=157,023百万円 総費用額 C=11,116百万円 現在(B/C) 14.1	(コスト縮減策) 周辺町並みの景観 に配慮し、堰のタ イプについては、 固定堰を採用し、 コスト縮減を図る ことができる。	再々評価実施後 5年が経過	昭和37年、51 年、平成2年等 の洪水被害を 軽減するため、 流路是正、狭窄 部解消を行い、 治水安全度を 向上し、地域住 民の安心・安全 を確保するた めには、当事業 の継続が必要 である。
	理由等			・鋼材単価の高騰による 工事費の増。 ・河川構造物の耐震検討 に関する新たな指針に よる構造物の検討費用 及び工事費の増。 ・河床掘削土の運搬距離 増による処分費増。 ・行財政改革等の予算縮 減を受け年度事業費が 減となったことによる 工期延長。						

